新時代への責任と決断

名取市議会議員

吉田 良の 名取市政ビジョン

第15号

なとり環境フェスタ

岩沼東部環境センター見学

夏の議員インターン受入れ

名取土地改良区施設見学

7月　名取市立第二中学校校内合唱コンクールの審査員を務めました。

8月　八幡南町内会草刈りに参加しました。宮城県護国神社の英霊奉謝祭に参列し、鎮魂頌の独唱を献楽しました。名取土地改良区の施設を見学しました。

9月　閖上海岸再生プロジェクト「スナガニ調査」に参加しました。

10月　市制施行記念式典に出席しました。総合防災訓練、増田西公民館主催「地域の防災・防犯講座」、八幡南町内会共同清掃に参加しました。岩沼東部環境センター「ぽぽか」を見学しました。全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「咲(えむ)」上映会に参加しました。第46回なとり文化芸術祭に出演しました。議員協議会において、名取市総合交通に係る地域公共交通体系の見直しについて説明を受けました。一般質問などで強く求めてきたデマンド交通が、令和6年度に導入される方針が示されました。なとり環境フェスタの開催が実現し、東京海洋大学名誉博士のさかなクン氏による基調講演が行われました。

市道熊野堂柳生線開通式

男女共同参画推進委員会

11月　第64回手をつなぐ育成会宮城県大会、第47回名取市社会福祉大会、青少年健全育成関係者合同研修会に参加しました。名取市交通指導隊による交通安全教室を見学しました。名取市男女共同参画推進委員会「名取市議会議員との意見交換会」に出席しました。みやぎ化学物質過敏症の会(ぴゅあい)収穫祭、八幡南町内会花壇整備、KPMサケ観察会・増田川清掃に参加しました。

12月　わいわいハッピータイム、市道熊野堂柳生線開通式に出席しました。

2作目の著書を出版しました

日本列島修復論

令和パトリズム宣言

若手地方議員が、渾身の思いを込めてまとめた本書は、令和の日本国の政治の進むべき方向を明確に書き示している。郷土を愛する皆さんに本書を推薦したい。

元・参議院議員　江口克彦氏

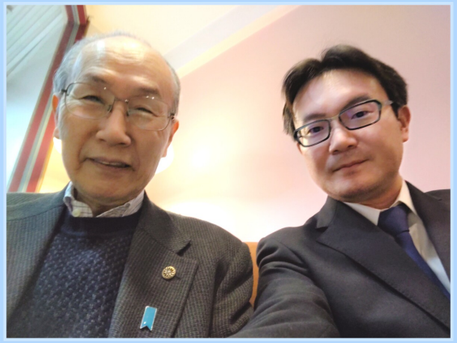
パトリズムは日本だけではなく、まさに過渡期にあるこの世界全体にも通用する考え方だと思う。

日本キリバス協会代表理事　ケンタロ・オノ氏

○定価　1,300円(＋税)
○発売　あさ出版
○装丁　四六判ソフト
○全国の書店、オンライン書店で発売中　○著者への直接申込みも受付中

ともに考えよう、仙台名取合併構想

第10回ゲスト
第34･43代宮城県議会議長
相沢光哉先生



吉田 良

仙台生まれ。仙台南高等学校、東京音楽大学卒業。名取市立みどり台中学校、常盤木学園高校など県内の中・高等学校に勤務。平成26年まで学習塾経営。
現在、名取市議会議員(2期)、総務消防常任委員会委員、名取市民合唱祭実行委員会顧問、混声合唱団せせらぎ指揮者、郷土史研究会会員など。

12月23日(木)　14:00

(吉田)がんセンターを含む4病院の再編統合について、どのようにお考えですか。

(相沢先生)公立であれ民間であれ、病院の経営は非常に苦しくなっています。特に日赤病院は、経営統合などについて以前から検討が進められてきました。ただこのたびの構想は、県民にとって寝耳に水のような形となってしまいました。

名取市民にとって病床のある総合病院の整備は長年の願いです。ただし市内ならどこでもよいわけではなく、交通アクセス環境が重要だと思います。

統合することに確かにメリットはありますが、新たな2つの拠点に再編すれば済むという簡単な問題ではありません。医療系人材の質を維持しながら運営するのは大変なことです。麻酔科医が不足しているなど、現場は様々な課題を抱えています。

それも少子化の影響でしょうか。統合しなければ、いつかは限界を迎えるということですね。

少子化は産婦人科の利用者数にも影響します。しかし総合病院という看板を掲げる以上、無理をしてでも診療できる体制を取ろうとします。どうしても経営効率が落ちてしまうのです。医療や看護以外の共通する事務経費は、なるべく抑えることが求められようとしています。

最新の医療機器の整備にも莫大な費用がかかるようです。

高額な機器を導入したもののペイしないケースも見られます。こうしたことから再編統合の方向は必然的であると思います。問題は、医療従事者や利用者等の理解と協力を得るための配慮が十分であるかどうかではないでしょうか。

名取市は消防署の出張所の移転に向けて、消防力適正配置調査を1年かけて行いました。しかし宮城県の病院再編構想には丁寧さが感じらず、成果を急いでいるように思えます。

県民にとって何がメリットなのかを提示できなければ、県民の了承を得るのは難しいでしょう。

名取市と仙台市の合併議論が進めば、病院移転先について選択肢が増えると思います。あわせて大規模商業施設の開業、ドーム球場の誘致など新たな土地利用が見込めます。それらの配置によっては、仙台市地下鉄の延伸も可能性が見えるのではないでしょうか。

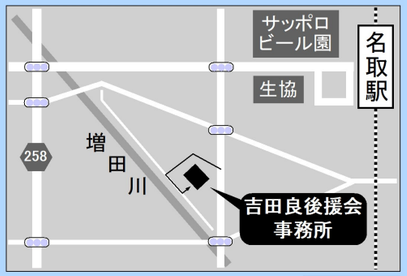
南北線なら延伸は可能かもしれません。しかし仙台市は政令指定都市に移行し、当面の間これ以上人口を増やす必要はありません。合併による財政への影響は、仙台市の側にも生じます。両市民や行政執行者がどう考えるかによると思います。

名取から、地方分権と道州制移行の加速化を！

吉田良後援会は会員を募集しています

◎ 事務所　〒981-1231 名取市手倉田字八幡165-32西
◎ TEL　090-3368-1771　FAX　022-774-1771
◎ ツイッター・ライン　@ryoyoshida1771
◎ ホームページ　http://www13.plala.or.jp/ryokoenkai

後援会入会申し込みはQRから▸



令和4年1月7日　発行　討議資料